



学校だより

御前崎市立白羽小学校

かがやく浜の子

令和8年度9月号①

令和8年度 重点目標 「自分から チャレンジ」

【文責 校長】

「子供が主役の授業づくり」を加速します！

7月に「白羽小学校の教育活動に関するアンケート」を実施しました。ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

アンケートからみられる「本校の強み」は、子供たちの「学校生活への高い満足度と安心感」です。子供たちは、温かな人間関係と安心感により、楽しく学校生活を送ることができています。

また、今年度の重点目標の浸透度も高く、「なりたい自分づくり」や「楽しい学校・学級づくり」への挑戦の意欲が高いことが伺えます。

・「学校は楽しい」と回答した児童	<肯定 95.7% (強肯定 69.9%) >
・「信頼できる先生がいる」と回答した児童	<肯定 96.2% (強肯定 81.2%) >
・「仲のいい友達がいる」と回答した児童	<肯定 95.7% (強肯定 90.9%) >
・「友達のよさに気づいた」と回答した児童	<肯定 96.8% (強肯定 81.2%) >
・「自分からチャレンジを意識して生活している」	<肯定 93.5% (強肯定 61.3%) > 昨年度比+24.5P

※肯定「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計

※強肯定「あてはまる」A評価のみ

一方、「今後の課題」は、すべての子供にとって「わかる授業」を実現することです。

・「授業がわかる」と回答した児童	<肯定 86.6% (強肯定 48.9%) >
・「授業に主体的に取り組んでいる」と回答した児童	<肯定 84.4% (強肯定 43.0%) >

子供たちが「授業がわかった」と実感するためには、与えられた課題に取り組むだけでなく、課題を自分のものとして取り組むことが大切です。自分は何を解決したいのか、解決するためにどのように学びたいのかなど、自分の意思をもって学ぶことで、確かな理解や深い学びにつながります。

左：何（PC・教科書）を使って学ぶのか、学びのヒントを選択

右：自分のペースにあった問題の量や内容を選択

これまでも、本校では、子供が「自分で決めて、自分で学ぶ」場を設定してきましたが、さらに、子供たちが自分の意志で学ぶ場面（何を学ぶか、どのように学ぶか、どこで学ぶか、誰と学ぶかなど）を増やし、「子供が主役の授業づくり」を加速させていきたいと思ひます。



もちろん、教えるべきことは教え、身に付けるべきことは身に付ける授業も行いますが、学びが、子供たちにとって「与えられるもの」ではなく、「自分から獲得するもの」になっていくように取り組んでいきます。そして、子供たちの「学校は楽しい」の理由に、「授業が楽しい」の割合を増やしていきたいと思ひます。学校に来られた際には、どのように授業が行われているのか、その姿を見て、ご感想をいただければ幸いです。

日々の学校の様子は HP に掲載されています。ご覧ください。 <https://shirosho.jp/>